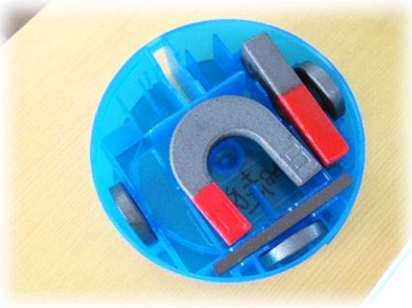
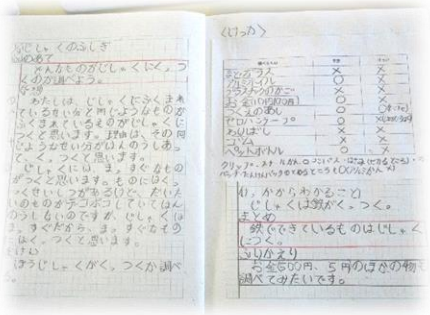
予想から探究へ　理科の授業

３年２組の理科の授業を参観しました。磁石の学習で「どんな物が磁石につくのか調べよう」というめあてです。実験に入る前に，子供達は予想を立て，その理由も考えます。鉄，金属などと予想を立ててから，棒磁石を手に各自で試していきます。授業では，金属でも，磁石につくものとつかないものがあることに気付かせ，「鉄」という素材に着目させて整理していきました。予想を立てるということは，自分なりの根拠に基づいて考えるということです。例えば，はさみの持つ部分はプラスチックだからつかないと予想していても，磁石についた場合，「あれ？」と新たな疑問が生じ，さらなる探究につながります。教師は，そういった探究心を大事にしながら，授業を進めていました。



くっついたよ。